

令和6年度 学校自己評価（教職員用） 28/29

	評 価 内 容
1	学級には一人一人に居場所があり、児童生徒は安心して学校生活を送っている。
2	安全やわかりやすさに配慮した教室環境の整備・美化に努めている。
3	児童生徒の実態に基づいて「個別に指導計画」を作成し、適切な指導や支援を行っている。
4	児童生徒が理解しやすく、主体的・対話的で深い学びになる授業づくりに努めている。
5	児童生徒一人一人の学習状況を把握し、指導方法の工夫や授業改善に努めている。
6	児童生徒への言動に留意し、人権に配慮した指導や対応を行っている。
7	指導力・授業力の向上のために研修（現職教員研修を含む）や研鑽に努めている。
8	児童生徒や保護者の相談に対し、誠意を持って対応したり、意見をより良い学校づくりに生かしたりしている。
9	学校の様子や必要な情報について、懇談や通信、保護者メール、SNS等で保護者に知らせている。
10	地域や岡山大学等と連携し、外部人材・施設等を効果的に活用しながら、授業実践に取り組んでいる。
11	家庭支援や不登校支援、いじめ防止対策等、生徒指導上の課題を共有し、外部機関とも連携しながら、組織的な対応ができている。
12	児童生徒の健康や安全に留意し、事故防止やPTAと協働した防災に努めている。
13	個人情報等の管理を適切かつ厳重に行っている。
14	業務の削減や精選、効率化を目指した見直し等、働き方改革は進んでいる。
15	研究課題の内容を理解し、日々の実践に取り組んでいる。
16	発達や学びの連続性を踏まえ小・中・高の12年間を見通した学級経営や保護者への発信を行っている
17	教職の魅力を実感できるように、充実した教育実習に努めている。
18	同僚性を大切にし、積極的な挨拶や建設的な発言、業務への協力等を心掛けている。



